

行政視察報告書

議会運営委員会行政視察

平成30年8月28日（火）～29日（水）

視察先 及び 調査事項	北海道札幌市議会	1 議員提案の政策条例について（取組状況と課題）
		2 議員海外視察の実施について
		ア 実施方法（実施要綱の制定とその課題）
		イ 視察結果の施策への反映方法、結果報告の方法と課題
		3 議会施設について
		ア 円滑な議事運営のための機能等（議会施設の視察を含めて）
		イ 議会施設に関する現状の課題と今後の対応

1、 議員提案の政策条例について

蒸野課長より説明を受ける。市民ニーズを一番把握している議員が、自身の手により地域課題の解決を図るための政策実現を目指し、議会活動の見える化も目指し取り組んでいえる。平成16年以降6本の条例を制定。最初の1本は多数決であったが、残りは全て全会一致で成立。

課題の発見から条例制定、その後の対応などを段階に分け、事務局の役割、議員の役割などの説明をいただく。

市長担当部局との関わり、認識の共有などが条例制定には欠かせないとのコメントもあった。

きっかけとなる会派内プロジェクトは、数多く設けられているらしく、政策提言のもとになる活動をされているように思えた。

本市議会への参考になる取り組みもあり、今後会派内、あるいは委員会の研究テーマ設定の中で、今回研修した手法を活かせないか、検討する価値は十分あると感じた。

2、 海外視察の実施について

神山総務課長より説明を受ける。札幌市を取り巻く諸課題に対応するため、国内のみならず海外の先進事例を学ぶため、海外視察を実施している。

視察団を編成し、任期の間1回の視察を前提に予算を計上、昨年は姉妹都市でもあるポートランドなどへ視察を行った。議会費としての対応をしており、政務活動費での海外視察も認めている。視察報告書はHPで公開。

議会規模が大幅に異なり、一概に本市議会と比較することは出来ないが、先進事例を国内のみにとどめず、海外もその対象としている点は、素直に参考にすべきと感じた。

3、 議会施設について

本会議場、委員会室などで説明を受けながら見学。本会議のみならず常任委員会もライブ中継を行っており、カメラ、操作盤などは本市の本会議場の施設と同じようなシステムになっていた。

本会議場の机上の名札は、出席議員数の表示板と連動しており、名札を立てるとカウントされるシステムになっていた。また、委員会のマイクスタンドは各席に設置されているが、全てワイヤレスでレイアウトの変更が容易になっている。

議会図書館の蔵書も豊富であり、社会経済学関係の蔵書は、一般書店では中々求めにくいですが、札幌市議会の蔵書は興味を惹かれ、見てみたいと思われる書籍が並んでいた。ぜひとも今後参考にしたいと感じた。

全般に広々とゆとりを持った作りであり、本市の状況と比べるには無理があると思うが、少しでも効率の良い議会運営をするため、施設設備の見識が深まったことは価値があったと思われる。

平成30年8月31日

松本市議会議長 上 條 俊 道 様

松本市議会議長 上 條 俊 道

